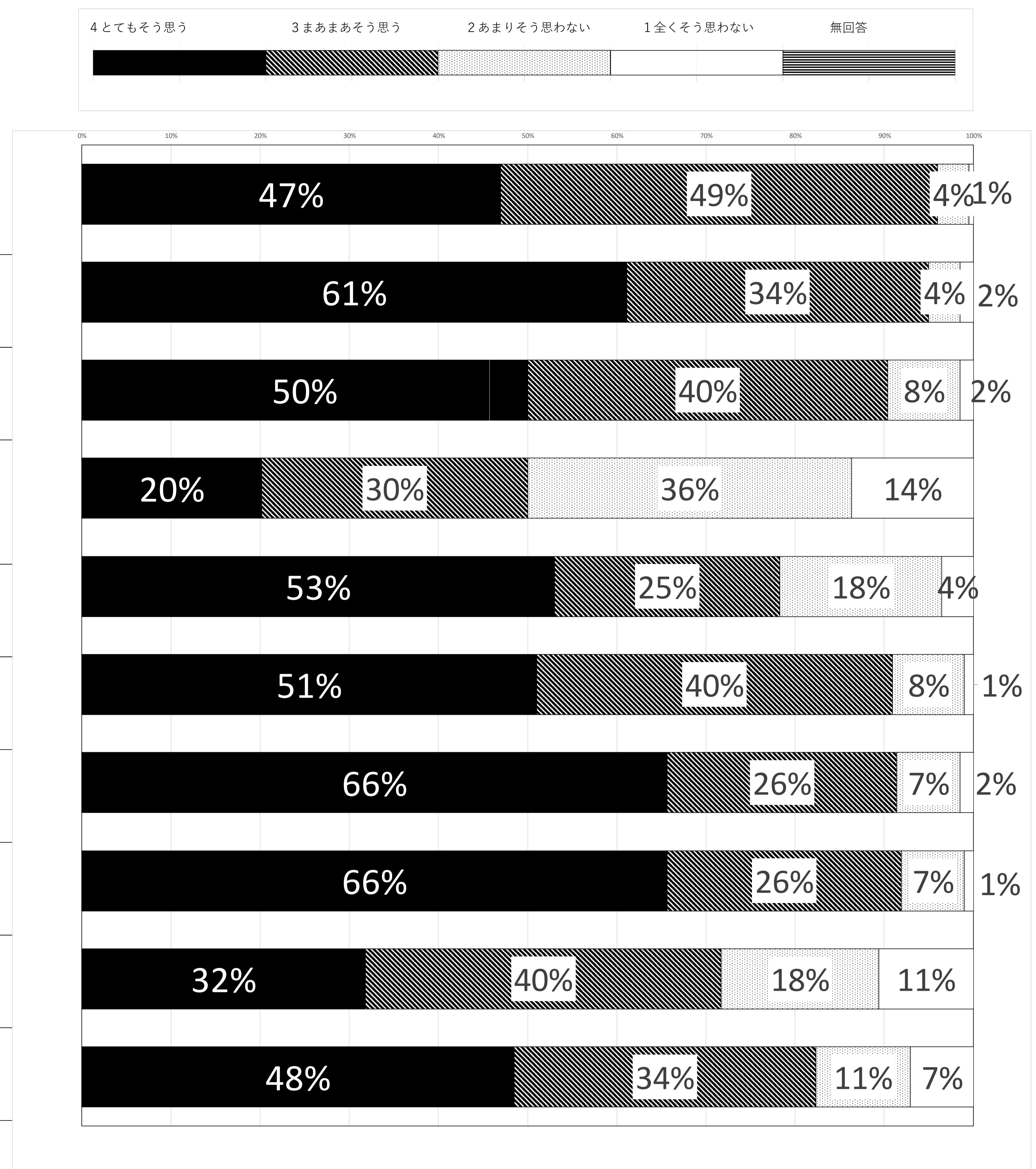


令和元年度 王子第五小学校 学校評価児童アンケート集計結果

		3(まあまあ思う)及び4(とても思う)の割合
①	学校や学級のきまり(やくそく)を守っている。	96%
②	近所の人、友だちにあいさつや返事をしている。	95%
③	授業で分からないことはそのままにせず、分かるまで取り組む。	90%
④	家では、自分で計画を立てて勉強している。 ア:しない イ:10分～30分 ウ:40～60分 エ:60分以上	50%
⑤	進んで運動し、体力をつけるようにしている。	78%
⑥	やらなければならないことは、責任をもってやりぬいている。	91%
⑦	学校(学級)での学習は楽しい。	91%
⑧	先生はいろいろな話をよく聞いてくれる。	92%
⑨	自分には「こんなよいところがある」と自まんでできることがある。	72%
⑩	地域の清掃や当番活動など、十条のまちの活動に参加するのは楽しい。	82%



【規範意識】

- 「①学校や学級のきまり(やくそく)を守っている」においては、96%と高い数値であり、児童の規範意識が高いことが分かりました。
- 「②近所の人、友だちにあいさつや返事をしている」も児童は95%であり、保護者アンケートの回答においても「②家庭では、家族同士であいさつをするように心がけている」は96%という高い数値でした。本校では週目標のあいさつのめあてを工夫したり、全校朝会や学級で指導したりしています。今後も、この成果が継続できるよう学校と家庭が連携して取り組めるよう努めます。
- 児童「⑥やらなければならないことは、責任をもってやりぬいている」は91%と高く、保護者「④家庭では、子どもの善い行いは褒め、子どもが人に迷惑をかけたときはきちんと叱るように心がけている」も99%と高い数値でした。家庭の規範意識の高さが子どもの責任感を育てていると考えます。

【学力向上】

児童「家では、自分で計画を立てて勉強している」は、50%と低い数値であり、保護者「家庭では、宿題や課題などを基に、学習の時間を設けている」は89%であり、他の設問と比較するとやや低めの数値でした。また、高学年の家庭学習が少ない傾向にあることが課題としてみられました。児童「③授業で分からないことはそのままにせず、分かるまで取り組む」は、90%との高めの回答ですが、学校で学習したことを、家庭においても自主的に学び定着が図れるように、学校において家庭学習の指針を示していく必要があります。

【体力向上】

児童「進んで運動し、体力をつけるようにしている」は、78%とやや低い数値でした。本校の体力テストの平均値は、多くの項目が東京都の平均や全国の平均値を超えています。しかし、「進んで運動する」という生涯スポーツに関連する大切な視点については取組の方法を考え、工夫していく必要があります。

【自己肯定感】

- 児童「⑧先生はいろいろな話をよく聞いてくれる」は、92%であり、教員に対しては、肯定的回答でした。また、保護者「⑥家庭では、子どもと学校であったことを話し合ったり、できるだけ子どもと一緒に食事をする時間をつくったりしている」は95%と、家庭においても児童との時間を大切にしていることが分かりました。子どもたちが安心して生活ができる環境が整っている状況が伺えます。
- 児童「⑨自分には「こんなよいところがある」と自まんでできることがある」は、72%と低い数値でしたが、保護者「家庭では、子どものよいところは認め、褒めるように心がけている」は、99%でした。家庭においては、児童のよさを見出し、言葉に表し、伝えるように心掛けていることが分かります。今後は、家庭と学校が連携し、児童の自己肯定感をさらに高めるための方策を検討していきたいと考えています。

【地域との連携】

児童「⑩地域の清掃や当番活動など、十条のまちの活動に参加するのは楽しい」は82%に対して、保護者「⑧家庭では、地域の清掃や当番活動など十条のまちの活動に家族ぐるみで参加するように心がけている」は、64%とやや低い数値でした。学校では、地域に出かけたり、地域の方をお招きしたりすることによって学ぶ機会が多く設定されています。学校・家庭・地域と連携し、自分が住む町十条が好きな児童を育成して参ります。